



曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

東国分爽風学園
市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎



→爽風学園ブログはこちら

→「爽風だより」はこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



校内教育支援センターについて

近年、不登校児童生徒が全国的に増加していることはご存じのとおりです。児童数は全国的に減少している中、毎年のように不登校児童生徒数は増え続けています（全国の小・中で約35万人。11年連続で過去最多を更新中）。

市川市でも全国と同様の傾向が続いております。そこで市川市では、今年度より「校内教育支援センター」を小学校全校に開設します。

小学校より不登校生徒数が多い中学校では、既に全校に設置済みですので、市川市ではこれで設置率100%となります（全国平均は設置率46.1%〈4/11付け朝日新聞より〉）。



これは、登校を渋っている、登校するが教室には入りにくい子などが、自分のペースで過ごし、支援員が付いて子どもの支援をする場であり、不安な子どもが心を落ち着けることができる「校内の居場所」です。

概要につきましては、18日（金）の保護者会にてお手紙（市内共通の文面）をお渡ししています。また保護者会に参加されていない方もいらっしゃるので、スキットメールにて一斉にお送りしています。

お手紙の最後に「詳細は学校だよりにて」とありました。学校によって実態が異なる面が多いので、本校では以下のように運用する予定です。

曾谷小 校内教育支援センター

名 称：曾谷小「ウィズルーム」（英語で「～とともに」「～と一緒に」を意味する「with」。必要な子どもたちに寄り添う意味合いを込めて）

開室日時：毎日（月曜日～金曜日）9:00～14:00

場 所：校舎2階 1年2組の隣の教室

初回開室日：令和7年4月22日（火）

支 援 員：「みらいサポーター」3名が輪番で常駐



利用方法：利用時に保護者との面談は不要、児童が必要な時に利用可

基本方針：

- ・ウィズルームを利用することは特別なことでも、悪いことでもないことを各学級で指導
- ・教室復帰のみが過ごし方の目標ではない
- ・ウィズルームで過ごすことが長期化する際には、保護者・みらいサポーター・管理職等関係職員を交えた面談を実施する

問い合わせ：ご不明な点については教頭（371-7888）まで

以上、「ウィズルーム」の開室についてご承知おきいただくとともに、利用について、お子さんとお話をいただければと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

学校からの情報提供について

曾谷小学校では、保護者の皆さんに本校の教育活動についてご理解いただくため、様々な情報提供を行っています。保護者の皆さんが最もご覧になるのは、各学年の「学年だより」であり、それに加えて学級通信を出している学級については「学級通信」となるとしています。

それ以外では「[学校だより](#)」を出していて、昨年度よりスキットメールによるデジタル配信としています。紙での配付と比べて「たいへん助かる」というご意見が多数ですが、「紙の時より読まなくなった」というご意見もあります。理由は、紙は学校から「直接届く」のに対して、メールは手元に届きはするものの、そこから「ファイルを開くという一手間が余計に掛かる」ということのようにです。

また、学校ホームページでも、教育活動についてお知らせをしています。ホームページの利点は、2点を考えています。

まず即時性、つまりタイムリーにお知らせができる点です。例えば授業ですとか、行事ですとか、早ければ数分後、遅くともその日の夕方には載せることができます。また、「[今日の給食](#)」であれば毎日更新、「[おしらせ&ニュース](#)」であればほぼ毎日更新、日により複数回更新しています。

2点目に、写真を多く載せられる点です。写真は多く語るよりも皆様に伝わる説得力があります。学校だよりではスペースの関係上、1枚載せるか載せないかというところですが、ホームページであれば複数枚を載せることが可能です。

学校としましても、皆様に読んでいただけるよう工夫と努力を続け、教育活動に対してご理解いただけるよう今後も努めてまいります。

